

日本のヘンプ産業は、米国コロラド州から何を学べるか？ 米国コロラド州ヘンプ推進・管理計画 C.H.A.M.P. 最終報告書 解説 Q&A

米国では、2014年ヘンプ農業法の制定によって、ヘンプ農家と研究機関が連携することで試験栽培が可能になりました。その後、2018年ヘンプ農業法によって全米でヘンプの商業栽培が認められ、現在に至っています。

米国の中でもヘンプ産業を牽引する州として著名なコロラド州は、2014年から2020年までの試験栽培及び商業栽培をサプライチェーンの観点から評価した下記の報告書を2021年3月に発行しました。

北海道ヘンプ協会は、この報告書（全76頁）を仮訳し、報告書の概要がわかるQ&Aとともに公開いたします。日本のヘンプ産業の今後を考える上で参考となれば幸いです。

米国コロラド州ヘンプ推進・管理計画 C.H.A.M.P. 最終報告書 2021年3月26日発行
Colorado Hemp Advancement & Management Plan C.H.A.M.P.

仮訳 URL → <https://www.hokkaido-hemp.net/ColoradoHempReport21.pdf>

原文 URL → <https://ag.colorado.gov/plants/hemp/champ-initiative>

Q1 コロラド州は、ヘンプをどれぐらい栽培していますか？

A1 報告書によると、2019年現在50,000エーカー（約2万ha）栽培しています。これは、同州のヒマワリ59,000、オオムギ54,500、ジャガイモ51,300エーカーに匹敵し、当協会が目指す北海道におけるヘンプの普及予定面積と2万haと同じです。

Q2 コロラド州では、何のためにヘンプを栽培していますか？

A2 報告書によると、全米の傾向と同じく9割がカンナビノイド（CBD製品原料）の生産のために栽培しています。1事業者当たりの栽培面積は、10ha未満が6割を占めています。

Q3 コロラド州は、ヘンプ産業についてどのような立場で政策を進めていますか？

A3 報告書によると、先進的なヘンプ産業の確立方法について全米の模範となることを目指しており、経済・労働力開発、インクルージョン（社会的包摂）、教育、研究開発、金融、起業家精神に焦点を当てたバランスのとれた規制政策を推進しています。

Q4 この報告書は、誰が作成したのですか？

A4 コロラド州のヘンプ産業に関係する行政、大学、農家、企業、銀行などの幅広い利害関係者（ステークホルダー）202名が参加して作られました。

Q5 この報告書は、何のために作られたのですか？

A5 コロラド州における①研究開発・種苗、②栽培、③検査、④輸送、⑤加工、⑥製造、⑦流通販売、⑧金融・保険の8グループのヘンプ・サプライチェーン全体の利害関係者からヘンプ産業発展のための市場流通段階の原則と提言を取りまとめるために作られました。

Q6 この報告書は、どんな市場流通段階の原則を示していますか？

A6 以下の7つの原則を示しています。

- 原則1：サプライチェーン全体での経済発展の促進
- 原則2：加工・流通過程の管理と情報共有がヘンプ産業の拡大を牽引する
- 原則3：THCの管理に重点を置く
- 原則4：連邦政府との互換性の重要性を認識しつつ、合理的な規制を提唱する
- 原則5：政府間調整の重要性の認識
- 原則6：サプライチェーン全体における金融・保険サービスへのアクセスを促進する
- 原則7：サプライチェーン全体における公平性、多様性、包摂性の促進

Q7 この報告書は、どのような提言をしていますか？

A7 サプライチェーンの8つ領域ごとに全部で21の提言がまとめられました。
下図により、提言のリストを示します。詳しくは報告書を参照してください。



Q8 コロラド州が米国のヘンプ産業のリーダーとなるため、どのような研究開発が必要だと述べていますか？

A8 報告書によると、「(1) ヘンプ遺伝学、(2) ヘンプの産業用途における有効利用、(3) カンナビノイド製品の消費者用途と選好、(4) 大規模かつ安全な製造方法などの分野で研究開発が必要となる」と述べています。

Q9 この報告書は日本のヘンプ産業の振興にどのように活用できますか？

A9 我が国では、2023年以降に大麻取締法が改正され、諸外国と同様に大規模栽培の可能性が期待されていますが、市場流通段階の原則「サプライチェーン全体での経済発展の促進」という視点がありません。この報告書を通じて、サプライチェーン全体で常に考える重要性を学ぶことができます。

特に、2014年から20年のコロラド州の利害関係者の総意をまとめた21の提言は、日本のヘンプ産業を推進するにあたって、どのような課題に直面するかを予め学習し、その対策を考える上でたいへん参考になると思われます。

Q10 この報告書以外に米国のヘンプ産業についての資料はありますか？

A10 北海道ヘンプ協会では、下記のことを仮訳した資料をWEBサイトで公開しています。ぜひダウンロードしてお読みいただければと思います。

米国ヘンプ農業法最終規則（翻訳版 全96頁）

米国ヘンプ農業法最終規則 解説 Q&A

米国ヘンプ農業法に対応した2020年麻薬取締局（DEA）規則（翻訳版 全14頁）

米国ヘンプ農業法に対応した2020年麻薬取締局（DEA）規則 解説 Q&A

米国議会調査局（2019）ヘンプの定義：ファクトシート（翻訳版 全12頁）

国内における播種用アサ種子の確保・供給はどうするの？ 解説 Q&A

ダウンロードはこちらのWEBサイトから可能です。

<https://www.hokkaido-hemp.net/resource.html>